

令和2年度 茅ヶ崎市スポーツ少年団 第33回種目別交流大会「野球の部」

主 催 茅ヶ崎市スポーツ少年団種目別野球大会実行委員会

後 援 茅ヶ崎市大型店連絡協議会
 (株)たまや 湘南ステーションビル(茅ヶ崎市)ラスカ (株)イトーヨーカ堂茅ヶ崎店
 イオンテール(株)イオン茅ヶ崎中央店 (株)カギサン
 生活協同組合コープかながわ高田店 富士シテイオ(株)鶴嶺店
 イオンテール(株)イオンスタイル湘南茅ヶ崎 全農パールライス東日本(株)

1. 大会方針 茅ヶ崎市スポーツ少年団に登録しているチームを主体とし、野球を通して
 近隣のスポーツ少年団と交流・親睦を深め、野球の底辺拡大を図る。

2. 開催日 8月22日(土) 芹沢球場 1部・2部(1回戦)
 8月23日(日) 芹沢球場 1部・2部(1回戦)
 8月29日(土) 芹沢球場 1部・2部(1回戦)
 // 1部・2部(2回戦)
 8月30日(日) 堤広場 ティーボール(TB)
 (1部・2部の進行状況によりTB交流変更あり) 1部・2部(準々決勝)
 9月5日(土) 芹沢球場・堤広場 1部・2部(準決勝)
 9月6日(日) 梅田小学校) 1部(決勝・3位決定戦)
 // // 2部(決勝)
 (コロナ環境で小学校利用方によっては9月5日までの対策を検討します)

3. 参加費 平塚のチームは、3,000円とする。

4. 試合方式 1部・2部は、トーナメントとする。

ティーボールは、2試合を実施

5. チーム編成

- ① 1部=6年生から3年生
 2部=5・4・3年生(6年生は3人まで、ただしバッテリーはできない)
 ティーボール=3年生以下
- ② 1部・2部・TBともに単独で編成できない場合、混成チームで参加可。
 (9人以下の場合、本部にてチーム編成の調整をします)
- ③ 団員が、多ければ複数チームの登録可。
- ④ 1部と2部の重複登録は、認めない。
 2部の3年生のTBの重複登録は、認める。
- ⑤ 新規登録選手は、大会の最初の試合開始までに届けば出場を認める。

6. 表彰

- ① 1部は 優勝旗・賞状・トロフィー ……優勝・準優勝・3位 (スポーツ少年団)
 優勝旗・賞状・メダル ……優勝・準優勝・3位=メダル(大型店連絡協議会)
- ② 2部は 賞状・トロフィー ……優勝・準優勝・3位=2チーム(スポーツ少年団)

7. スケジュール

① 参加申し込み

申し込み案内は、7月18日(土)までに各地区連絡者へPCメールで送信する。

8月1日増川まで申し込みをtkawa-bmasu@jcom.zaq.ne.jp

またスポーツ少年団ホームページへも掲載

② 代表者説明会・抽選会

8月9日(日) 開始 18時～ 総合体育館2F 会議室

コロナ対策で各団1名出席お願いします。(各団種目別委員に委任しても良い)

(体育館地下駐車場は有料になります)

③ 小学校の入場時間と試合開始時間

各小学校の入場時間は、8時30分から 試合開始時間は、9時30分から。

芹沢球場8時から 堤広場 8時15分からの入場 9時試合開始

8. その他

① 1部・2部の試合球は、各チーム2球出して下さい。(ロストチームがボールを補充)

② ティーボールは、試合球とティースタンドを本部で用意します。

③ 抽選会后、各チームの試合会場と当番会場を決めますが、同会場にならないチームもあります。

※ 各小学校の駐車場の制約 近隣のチームは、自転車にて、移動 その他 市内チームは、車3台 ※ 平塚の参加チームは、車4台 ※ 芹沢球場・堤広場は、各チーム車4台 ※ ゴミは、各チームで持ち帰ってください ※ 暑さ対策をおねがいします

※ 各小学校 会場の提供をお願いします

8月30日(日)

8月1日(土) の参加申し込みの時に提示願います

連絡網

雨天時連絡は、7時30分 に各地区に連絡します

委員長	古森直幹	0467-52-0276
事務局	増川博久	090-7251-0786
北部地区	佐藤博明	090-4737-1944
梅田地区	緒方武人	090-4546-6255
松浪地区	相澤正彦	090-9159-9190
松林地区	野崎義一	090-4439-1101
平塚地区	曾根田忍	090-8941-7431

※ スケジュールについては、茅ヶ崎市スポーツ少年団のホームページを確認

9. 【 審 判 】

- ① 1部・2部の審判員の服装は、白いワイシャツ又は白いポロシャツに黒又は紺のスラックス、及び野球協会のグレーのスラックス。靴は、黒又は暗色とする。
- ② ティーボールは、ジャージなど運動の出来る服装で、短パン・サンダル履きは禁止とする。(審判員としてふさわしくない服装)
- ③ 審判帽は、各団で対応。
- ④ 球審・2塁の審判は1塁側。 1・3塁の審判は3塁側のチームが担当
- ⑤ ティーボールの審判は、当該チームで球審と塁審を置く。

審判は次により決める (1塁側=球審・2塁) (3塁側=1塁・3塁)

試合数	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合
2試合のとき	②	①			
3試合のとき	③	①	②		
4試合のとき	②	①	④	③	
5試合のとき	③	①	②	⑤	④

10. 【 大会規定 】

- ① 1部は、7イニング 80分とする。(負者戦は5イニング 70分)
- ② 2部は、5イニング 70分とする。
(1部・2部とも時間を超えたら次のイニングに入らない)
- ③ 1日の投手の投球数制限 1部=70球・2部=60球とする。
- ④ ティーボールは、30分打ち切り(当該打者まで)とする。または6イニング。
- ⑤ 1部は7イニングとし4回以降で7点差でコールドゲーム
1部の負者戦と2部の試合は、3回10点差でコールドゲームとする。
- ⑥ 途中降雨又は日没の場合は、
5イニングの場合3回
7イニングの場合4回を持って試合成立とする。
- ⑦ 1部・2部は同点の場合、無死満塁からの特別ルール1回行う。
決定しない場合は、抽選(各会場に準備)とする。
 - (1) 最終回のポジションで整列する
 - (2) 投手がジャンケンで勝った方を先攻とする
 - (3) 球審は、選手が抽選券を半分上げたところで、監督に渡す
 - (4) 順番に進み最後までいったら、監督が「あたり」を確認する
- ⑧ 各小学校のグラウンドルールを適用する。(試合前に、会場責任者が説明)
- ⑨ 集合時間は1部・2部とも1時間前(主将のジャンケン試合開始30分前)
ティーボールは、試合開始予定30分前とする。
- ⑩ 審判員は、試合開始60分前に集合。
- ⑪ 指導者のサングラス着用は、認めない。(特別な事情を除く)
- ⑫ その他は、公認野球規則に準じる。

【 コロナ対策 】

- ① 試合開始前の整列は各ベンチ前に整列し挨拶
- ② 応援はなし

- ③ ベンチ内は、原則としてマスク着用
- ④ その他は野球協会の大会規則に準じる

◎ 茅ヶ崎市スポーツ少年団 種目別交流大会「テーパーの部」 テーパー大会野球規則 令和2年8月30日

小学3年生以下のチームを対象とする。グラブ、金属バットは公認道具を使い、ユニフォーム着用が原則である
選手は9人、3アウト制。試合は、6イニングス、試合時間は30分(打者まで)制限とする

【球場施設】

内野は塁間18.29m、投手板迄は14.02m、本塁から2塁まで25.82m
特別ファールゾーン(本塁からインフィールド4.5mの範囲)
ボールデッドサークル(投手板を中心とした直径2m円ライン)
ホームランライン(左翼36m、中堅42m、右翼36m)

【使用球】

BB1400練習球(ゼット製)を使用(ゼット セーフテーパー)

【バット】

通常使用しているバット又は主催者提供のバットとする。

【バッティングテーパー】

上下に伸縮でき、本塁ベース上に安定して置くことが出来る打撃テーパー。

【用具・衣服】

各野球団体に規則に適合したグラブ、ミット、シューズを使用。
ユニフォームは統一したものが原則(混合チームは除く)。
ユニフォームがない場合、動きやすい服装(安全を考慮)とする。
背番号は必要である

【チーム編成】

成人の監督(責任者)1人とコーチは4人以内とする。

3年生以下で編成されたもの。選手は20人以内。

【監督】

チームの運営、管理に責任を持つ成人、連絡責任者も兼ねるものとする。

【コーチ】

コーチは、成人でなくても良いが、指導力があるもので選手と違う服装が必要。

(攻撃の場合)

一塁・三塁側のコーチーズボックスで選手に指示を与えるほか
1人は主審の横で打者を指導すると共に、投手より球を受け取り、主審へ手渡さねばならない。

【(守備の場合)アドバイザー】

2人以内がインフィールドに入り、捕球や送球にアドバイスをあたえることができる。インプレーのボールに触れてはならない。

【選手・選手交代】

守備は9人で行なう。交代はいつでも自由です。

打つ順番は、全員打撃制(守備に付かなくともよい)

【審判】

4人制で行なう。(又は3人制でもよい)

当該チームでおこなう。

(球審・2塁=当該 1・3塁審=当該)

球審は、判定に最終的な権限を持つ。

球審はテーパーの上にボールを乗せるほか、本塁でのプレーが予測される場合、事前にテーパーを走者の進路外へ移動しなければならぬ。

【記録係り】

各チーム1名選出し得点等の記録を記載

【成立イニングの例】

例1 先攻 000 001 6回裏攻撃に入る前に30分が経過
後攻 100 00 後攻が1-0で勝ち

例2 先攻 000 00 5回裏攻撃途中で30分を経過
後攻 000 01 後攻が1-0で勝ち

例3 先攻 100 002 6回表に逆転したが30分を経過
後攻 000 02 後攻が2-1で勝ち

【試合】

6イニングス又は時間制限30分(打者まで)

(成立しているイニングで勝敗を決する) 同点の場合は引き分け
※3アウト制と打者一巡での交代を併用する。

【集合】

チームは試合開始時間の30分前にはベンチ前に集合し
グラウンドの記録係りに到着確認をする。

使用ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。

【試合開始】

両チーム主将のジャンケンで攻守を決めた後、守備側の選手が定位置につくと主審がボールをテーパーの上に置き

「プレー」を宣言する。投手はこの後、投げる動作

に入り、打者はその終了後にテーパーのボールを打つ。

プレー宣言後に、投球動作が無くても打者の打球は有効

(ピッチャーには、次打者より投球動作の指導をする)

【バッティング】

フルスウィングしなければならない。

【ファールボール】

野球のファールボールに次の3つをつけ加える。

A) 打球がホームから4.5mのファールゾーン内にこもったとき。

B) バント、ハーフスウィングしたとき。

C) 球審がフルスウィングと認めなかった場合。

【三振】

2ストライク後、ボールにバットが直接当たらない場合は三振とする。

【離塁】

ランナーはバッターがボールを打つまでは離塁してはならない。

審判が早いと認めたときはアウトとする。

【ボールデッド】 審判員は「タイム」コールを宣言

第一優先 打撃によるプレーが終了し

①ボールを投手が投手サークル内で確保

②投手がサークル周辺で見なし確保と球審が判断した場合

この時点で、走者は塁に触れていなければならない。

ボールデッドになった時点で走者が塁間にいるときは進塁できず、手前の塁に戻る。

第二優先 プレーが一段落したと球審が判断したとき
(進塁は、球審の判断による)

例 ボールデッド

① 2塁ランナーが、3塁ベースを超えた時、

ホームベース付近にてボールを確保

② 進塁の先にボールを確保してる場合

【打球を直接投手に返球とみなされる動作】=ボールデッド

打球後に直接、投手に返球した場合、1塁走者は2塁・打者は1塁

満塁の場合、押し出しで得点になる。

(踏前の塁が空いてる場合は、戻す)

【ヘルメット】

捕手は必ずヘルメット(両耳保護付)を着用して守備につく。

その他は、バッターも含め任意とするが安全のため

打者、走者ともヘルメットの着用。

【攻守交代】

1イニングで9人目の打者は、アウトカウントを2アウトとする

【審判コール】

試合開始=プレー (一球毎) 試合終了=ゲーム

ワンストライクプレー・ ツーストライクプレー・ ストライクスリー(バッターアウト)

スウィング=スタンドのゴム部分を打った場合、空振り